

大坂 女王の貫禄

ぜんごう テニス 完勝V

リターン向上強さ別格

オーストラリアのメルボルンで2月20日に行われたテニスの全豪オープン女子シングルス決勝で、第3シードの大坂なおみ（日清食品）は、第22シードのシエニファ・ブレイディ（米）に6-4、6-3と快勝し、2年ぶり2度目の優勝。全米オープンの2度を含めて四大会4勝目を挙げた。

優勝の瞬間、ラケットを頭上に掲げて喜びを表現した。今大会の大坂の強さを象徴するような完勝だった。ブレイディは、サーブで184キロを記録するなど持ち味のパワーで押した。だが、大坂は丁寧なサーブを返してラリー戦に持ち込み、バックハンド側を狙って相手の長所を消した。今大会、大坂が強調していたのがリターン※の向上だ。契機となったのが昨年の全米オープン決勝。相手のピクトリア・アザレンカ（ベラルーシ）を見て、「彼女のような強力なリターンを打ちたい」と感じた。これで初優勝した20



新聞では、同じ語の繰り返しを避けるため、別の言葉に言い換えることが多くあります。見つけれましたか。

大坂とブレイディの決勝のデータ

大坂		ブレイディ
6	サービスエース	2
2	ダブルフォルト	4
48% (30/63)	第1サーブ成功率	48% (29/60)
71% (40/56)	リターン成功率	67% (41/61)
16	決定打	15
24	凡ミス	31

※「リターン」＝サーブの返球

18年の全米以降に開かれた9度の四大会で、4度頂点に立った。この間、複数回優勝したのは大坂だけと、その強さは突出している。まだ23歳ながら、既に絶対女王の風格を漂わせている。

1 傍線部「相手の長所」、「無言の圧」とは、それぞれ何を指していますか。記事の中から7字で抜き出しましょう。

相手の長所

持ち味のパワー

無言の圧

強力なリターン

※「リターンの向上」も正解とします

2 表「大坂とブレイディの決勝のデータ」は、記事に書かれている内容のどの部分を数値で示したものでか。次の中からあてはまるものを選びましょう。

- ① 大坂選手が、相手のバックハンド側を狙ったこと。
- ② ブレイディ選手が、サーブで（時速）184キロを記録したこと。
- ③ 昨年の大会と比べて、大坂選手のリターンが向上したこと。
- ④ 「決定打」の数はほぼ変わらず、「凡ミス」の数が勝敗を分けたこと。
- ⑤ 大坂選手は「サーブがあまりよくなかったけど、リターンが助けてくれた」と言っていること。

5

⑤の大坂選手の言葉を表のデータが裏付けています。サーブ成功率は相手と同じですが、リターン率が良いのが分かります。①～③は表から読み取ることはできません。また④は記事中に書かれていない内容です。

3 2018年の全米オープン以降に開かれたテニスの四大会で、女子シングルの優勝を経験した選手は、大坂選手を含めて何人ですか。

6人

記事に「9度の4大会で4度頂点に立った」「複数回優勝したのは大坂だけ」とあるので、大坂選手が4回、残りの5回で5人の優勝者がいたことが分かります。「6」だけでなく「6人」と教えてください。

読んでみよう！

◆ミー太郎のおすすめ記事

大坂 精神面でも成長

2年ぶり全米V 差別問題提起

【ニューヨーク＝福井浩介】12日にニューヨークで行われたテニスの全米オープン女子シングルス決勝で、2年ぶりの優勝を飾った大坂なおみ選手(22)。2年前には天真爛漫なキャラクターで注目されたが、今大会では、強い大人の女性に成長した姿を見せた。

△本文記事スポーツ面▽
その象徴が、1回戦から入退場の際に着用したマスクだった。過去に白人警官などに殺害された黒人の名前を入れ、決勝までの7試合分を用意した。世界中が

注目する舞台から人種差別の問題提起を続けた。

「シャイな自分から変わった。転機は新型コロナウイルスによる5か月間のツアー中断期間にある。3歳からテニス漬けの日々を送ってきたが、初めて自分と向き合う時間ができた。「物事を考える機会をくれた重要な数か月になった。一番しなかったのが成長」と明かした。

米フロリダ州の親元を離れ、ロサンゼルスに移り住んだこともその一つ。自分で洗濯をし、親のありがたみに気付いた。決勝の前日、幼少期に過ごしたニューヨークの街を車内から見つめながら、テニス生活を支えようと母が午前4時に起きて出勤していた当時を思い出し、涙が止まらなかったという。

2年前、別の大会でツアー初優勝を飾った20歳の大坂選手は表彰式で「うーん、こんにちは。私はナオミです。あ、気にしないでくだ

さい。史上最悪のスピーチね」と語っていた。

あれから2年。表彰式でマスクに込めたメッセージを問われ、答えた。「あなたが受けたメッセージは何でしたか？ 重要なのは人々が議論を始めること」。差別への問題意識とともに、世界に向けて成長を示した。



(2020年9月15日 読売新聞夕刊より)

ツアー中断を「物事を考える機会をくれた重要な数か月」ととらえるなど、

大坂選手は、発言内容や発信力でも注目されています。

成長した大坂選手から、あなたはどのようなメッセージを受け取りましたか。



学習指導要領との表

読むこと		構造と内容の把握	精査・解釈		
		ア	イ	ウ	エ
設 問	1	○			
	2			○	
	3	○			